

食に関する「安全」と「安心」の考え方について

【第2回検討部会での御意見】

- 食に関する「安全」と「安心」の説明にあたっては、「理解」「納得」「信頼」というキーワードを上手く活用していただきたい。
- ポンチ絵などを用いながら、市民に分かりやすく説明していただきたい。

1 第2回検討部会で提示した食に関する「安全」と「安心」の定義

「安全」とは、客観的なものであり、食品は危害を及ぼす可能性（リスク）を有するものであることを前提に、最新の科学的な根拠に基づいて、健康への悪影響が十分に許容できる範囲まで予防、抑制されている状態をいう。

「安心」とは、個人の主観的なものであり、食の安全確保に向けた様々な取組により、消費者が十分に情報を得ることができ、行政や食品事業者の取組に対して多くの消費者の信頼が構築されている状態をいう。

2 第2回検討部会での御意見を踏まえた食に関する「安全」と「安心」の定義

食品の「安全」が確保されていたとしても、必ずしも消費者の「安心」に繋がるものではありません。

「安全」とは、客観的なものであり、食品は危害を及ぼす可能性（リスク）があることを前提に、最新の科学的な根拠に基づいて、健康への影響が及ばない範囲まで予防、抑制されている状態をいいます。

「安心」とは、個人の主観的なものであり、食品の安全性の確保に向けた行政や食品事業者の様々な取組について、消費者が十分に正しい情報を得て理解するとともに、多くの消費者の納得が得られ、信頼が構築されている状態をいいます。

